

# ナットク! 気になっていたあの言葉

## 今月の気になっていたあの言葉：【育成就労制度】

外国人材の育成と確保を目的とした新制度のこと。現行の技能実習制度の問題点である、不十分な権利性やブローカーの介入などを解決するために創設された。完全移行は2030年頃で、企業側には高い日本語能力を持った人材の長期雇用が可能になること、外国人材側には負担費用の軽減や転籍可能などがメリットとなる。

# 井戸端会議でも使えるネタ話

## 今月のネタ話：【「落とし物」が「掘り出し物」に！】

「落とし物」がフリマアプリで「掘り出し物」として第二の人生を歩み始めています。交通機関や商業施設での落とし物は、警察での保管期間後も持ち主が現れなかった場合は企業に戻されますが、保管・処分コストの問題から多くが廃棄されてきました。企業を悩ませていた「落とし物」の新たな活用方法を開拓したのは、落とし物管理を効率化するクラウドサービス「落とし物クラウド find」を提供している株式会社 find と、フリマアプリで有名なメルカリ。2社が提携して落とし物を再販する実証実験をしたところ、ほぼ新品のブランド品や未使用品が定価の半額以下で購入できることから注目を集め、わずか2週間で6割が売れたという実績を残しました。仕入れコストがゼロなので格安で出品でき、売れなければどんどん値下げできる柔軟な価格設定は、出品企業にとっても消費者にとっても大きな魅力。参加企業の増加で市場が拡大していけば、消費者にとっては思わぬ掘り出し物との出会いの場になりそうです。



# 意外に知らない 暦の話

来る7月7日は「七夕・そうめんの日」。古来から伝わる七夕の行事食「そうめん」が広く認知されるよう、全国乾麺協同組合連合会が制定しました。ところで七夕に「なぜ、そうめん?」。これには諸説あるようで、糸に見立てて「芸事（機織り）」が上手になるように、または小麦が毒消しになるという言い伝えから「健康を願って」、あるいは彦星と織姫の逢瀬にあやかり「恋の成就を祈って」等々、さまざまないわれがあるとのこと。さらに歴史をたどれば平安中期、醍醐天皇の時代に編まれた法典『延喜式』に、そうめんの原型といわれる「索餅（さくへい）」が旧暦7月7日、七夕の宮中儀式で食べられた、という記述もあるのだとか。蒸し暑いこの季節、さっぱりと食べられるそうめんは、夏バテの救世主！全国乾麺協同組合連合会のホームページには基本のゆで方からちょっと変わったレシピまで、情報も盛りだくさん。今年の七夕は、伝統ある行事食を楽しんでみませんか。

# 気軽に Let's 英会話

## 今月のキーワード：【in-laws】

6月に挙式すると幸せな結婚生活を送ることができるといわれていますね。結婚に伴い成立する「姻戚」は“in-laws”といいます。「義父／義母」は“a father/mother in-law”、「婿／嫁」は“a son/daughter in-law”、「義兄弟／義姉妹」は“a brother/sister in-law”。“My in-laws are nice to me.”は「義理の家族は私に優しいです」の意味です。同じ義父／義母でも、再婚による「継父／継母」は“step father/mother”、養子縁組による「養父／養母」は“foster father/mother”です。

知恵袋  
得する知恵袋  
切れてしまった乾電池を捨てる前に手や布で擦ってみましょう。乾電池は本体が温まると電流がスムーズになり、切れた電池が復活することがあります。電源が限られる非常時にはもちろん、日常のちょっとしたシーンでも覚えておくと便利な知恵です。

